

無線 LAN (Wi-Fi) の暗号化規格である WPA2 における脆弱性 (KRACKs) に関する情報

2018 年 7 月 6 日

昨今、無線 LAN の暗号化技術である WPA2 において、KRACKs と呼ばれる脆弱性があることが発表されております。本脆弱性は、クライアント(無線 LAN 機能を搭載した端末)とアクセスポイント(無線 LAN ルーターなど)の間の無線 LAN 通信を攻撃者が意図的に傍受し、不正に通信データ等を取得される可能性があります。クライアントおよびアクセスポイントからの無線 LAN 電波が届かない場所や、遠隔からインターネットなどを介して、本脆弱性を利用した攻撃を受けることはありません。

当社製品において、本脆弱性を利用した被害は現時点で確認されておりませんが、より安心して製品をお使いいただくため、本脆弱性への対応方法等を以下の通りご案内致します。

1.対象となる W-LAN 製品

標準で W-LAN モジュール基板を搭載している製品

W-LAN インターフェイス基板(オプション)

2.対応に関して

対象製品に関して、KRACKs に対する修正ファームウェアを準備しております。

尚、当社製品の本体ファームウェア更新に関して、ファームウェア更新後の各種機能設定、ご使用のサプライに対する印字位置等の各種設定が必要となる事があり、ファームウェアの更新作業に関しては、弊社 CE による作業とさせていただきます。

本件に関するお問い合わせ先:0120-136310 9:00~17:45(土・日・祝日を除く)